

打合せ記録簿（1/4）

件名	第5回土岐市まちなか未来会議	
日時	令和8年2月25日（木）14:00~16:10	
場所	土岐市役所 大会議室2A	
出席者 (敬称略)	委員	名古屋都市センター特任アドバイザー 加藤 義人 泉町連合区会 加納 弘夫 土岐商工会議所 石黒 信彦 土岐市観光協会 山村 公秀 土岐青年会議所 加藤 大祐 土岐市公私立こども園長会 加藤 隆浩 土岐市商店街連合会 和田 武雄 市民ワークショップファシリテーター 三田 祐子
	土岐市（市）	水野公室長、籠橋産業文化部長、山路地域振興部長、加藤建設水道部長、中垣課長補佐、井本係長
	UR リンケージ (URLK)	瀬木、山川、志水、西口(記)、中野
議事録		
<p>議題</p> <p>本会議では、前回の土岐市駅周辺まちづくり基本計画（骨子）への意見を踏まえ、まちなか居住を効果的に促す取組みを再整理し、まちづくり基本計画の作成に向けた議論を行う。</p> <p>議題1. 前回の振り返りについて (UR リンケージ) 前回の振り返りについて、資料1に基づき報告。</p> <p>議題2. まちなかにおける取組みについて (UR リンケージ) まちなかにおける取組みについて、資料2に基づき報告。</p> <p>・観光協会の取り組みが記載されていない。観光協会ではあるが、まちづくり活動を行っている。他の団体とのつながりづくりなど連携も行っており、記載するようにしていただきたい。 ⇒ (UR リンケージ) 聞き取りは行ったものの、すべて網羅できていない。他にもあれば教えていただきたい。</p> <p>議題3. まちづくり基本計画について (UR リンケージ) まちづくり基本計画について、資料3～4に基づき報告。 (委員長)</p> <p>・5年間で始める内容となっており、5つの取組が掲げられている。 誰の責任でやるのかはP21に記載されている。 着手はできないが検討していく内容については展開プロジェクトとして位置付けられている。 推進体制のうち、プラットフォームを先行し、(仮称)まちづくり推進会議は来年度立ち上げられる予定。まちづくり会社は5年後を目途に立ち上げることとしている。</p> <p>・未来会議は最後になるということか。今後どうなるのか。</p>		

打合せ記録簿（2/4）

- ⇒（土岐市）未来会議は最後だが、先ほど説明した「(仮称)まちづくり推進会議」へ移行していく。
- ・市の担当者は数年で異動してしまう。誰が責任を持つかを明確にし、事業の道筋をつくるようにしていただきたい。
 - ⇒（土岐市）基本計画ができれば、それに基づき、実際に事業等を進めていくことになる。市の中でも新たに部署を設け、そこが中心となり進めていく予定。
- ・それでは不十分だと思う。計画期間は担当者も固定して取り組むべきではないか。この機会を逃すと次はないと考え、市としても覚悟をもって取り組んでほしい。
 - ⇒（委員長）プランニングの段階と実施の段階では部署が異なる。担当者が変わることは受け入れていただければと思う。
 - ⇒（土岐市）計画は多岐に渡るものであり、新たな担当部署ですべてを担うことはできない。新たな担当部署で音頭をとって進めさせていただく。
- ・この計画はどの段階で公表されるのか。
 - ⇒（土岐市）訂正がなければ、この後庁内の手続きを経たうえで策定し、公表する。
- ・土岐市の暮らしやすさの目標が横ばいになっている意図を教えてください。
 - ⇒（土岐市）暮らしやすさの目標数値（69.7%）はそもそも高いため、現状より下げないという考えである。
- ・移住定住補助制度は変わるということか。
 - ⇒（土岐市）移住定住補助制度は一旦廃止したが、まちなか居住を進めるために復活も検討するということ。
 - ⇒（委員長）暮らしやすさの目標については、「70%以上」とするのがよいのではないか。
- ・人口が増えれば成功なのか。まちが綺麗になれば成功なのか。それよりも人口が増えることを明確な目標にできないか。
 - ⇒（土岐市）全市的に高齢者が多いため、年少人口がよほど増えない限り全体の人口を増やすことは難しい。まちなか居住促進の指標としては、駅周辺地区の年少人口を設定している。人口減に対し世帯数は増えているが、世帯分離により増えているのが実情である。
 - ⇒（委員長）すべての施策がまちなか居住につながるものだと捉えてもらうとよい。
- ・この計画の記載のままだと、どのようなまちになるのかが想像しにくい。
 - ⇒（委員長）5つの先導プロジェクトから想像しにくいということだと思うが、建物等のハードの整備等があれば分かりやすいのだが。
 - ⇒（土岐市）今のままではますます人口が減って、店舗も減ることになる。まちなかの人口を増やすことがそもそもの目的であり、そのための計画であることをご理解いただきたい。
- ・もっと明確にイメージしやすい「楽しく歩けるまちづくり」のようなキャッチフレーズがあるといいのではないか。
 - ⇒（UR リンケージ）まちづくり構想では「多様な世代の笑顔あふれる 人が人を呼ぶまちなか」をコンセプトとしている。より分かりやすい表現となるよう検討する。
 - ⇒（委員長）文字や情報量が多いため、イメージがしにくいかもしれない。

打合せ記録簿（3/4）

- ・少子化が進む中で、いかに子育て世帯を呼び込むかを考える必要がある。市としての子育て施策の中で、まちなかに集中させるという考え方は理解できる。まちなかから周辺にも波及していけるとよい。
- ・ゆのみ里の舗装が凸凹しており、イベントの際に支障が生じているため補修をお願いしたい。
⇒（土岐市）状況は把握しており、計画の進捗に合わせ、予算化できれば補修していきたい。
- ・ゆのみ里は施設しても壊す人がいるなど適正管理は困難である。
⇒（土岐市）利用状況を調査したところ、名古屋への通勤者がほとんど。計画全体を見ながら進め方を考えていきたい。
- ・ゆのみ里駐車場が無料であることが問題ではないか。ゆのみ里をどのようにしていくかのビジョンを持つことが必要。駐車場をチケット制にして料金を徴収し、管理していくことを以前から提案している。
⇒（委員長）パーク＆ライドに使われていることを、市としては把握して今後活かす必要がある。ゆのみ里の管理についても計画に加えることはできないか。
⇒（土岐市）そもそも商店街利用者のための無料駐車場であったが、通勤利用になってしまっている点については、以前から問題視している。商店街の皆さんの同意が得られるのであれば、まちづくり会社の資金源とするなど計画に位置付けられた事業と合わせて整理していきたい。
- ・プラットフォームについて、いろんな属性、世代のプレイヤーが活動しており、一緒に取り組みできればいいが、現状ではできていないため、ステップに合わせて広げていってほしい。新博物館に関わるプレイヤーとも一緒になって取り組めるとよい。

（土岐市）

- ・この計画については関わる部署が連携して取り組ませていただく。
- ・これまで危険空家の解体の補助はあったが、駅周辺地域の居住促進のために「まちなか空き家解体・居住促進補助金」を創設する。徐々に対象エリアを広げていきたいと考えている。
⇒（委員長）制度を周知、PRして利用してもらえるように。
- ・継続性は大事であるが、時代とともに変わっていく部分もある。人口の推移なども踏まえて計画の進捗管理をしていきたい。
- ・議論だけで終わらないようまちづくり会社を少しでも早く設立し、まちづくり会社を中心となって、まちづくりを進めることがポイントとなる。行政ですぐにできないことも民間であれば利益を考えながら迅速に動く。まちづくり会社においても同じように利益を出していけるように。
⇒（委員長）まちづくり会社になるべく早くたどり着けるよう計画を進めてほしい。

（委員長）

- ・まちづくり基本計画については、下記3点の対応をお願いする。
 - ①暮らしやすさの指標は「70%以上」とする。
 - ②A3用紙両面程度の概要版を作成する。
 - ③ゆのみ里にはコミュニティガーデンだけでなく、駐車場機能も検討し位置付ける。

打合せ記録簿（４／４）

・今後の修正等については、委員長預かりとさせていただくことでよろしいか。

（委員）

・異議なし

以上